

MITSUBISHI MOTORS

---

# 2016年度 第2四半期 決算説明会

---

三菱自動車工業株式会社

2016年10月28日

**このたびの燃費不正問題により、お客様をはじめ、  
当社に関係されている多くの皆様に、多大なる  
ご迷惑をおかけしましたことを改めて深くお詫び申  
し上げます。**

# 2016年度 第2四半期累計 業績サマリー【前年同期対比】

(単位：億円、千台)

	FY15 2Q ( '15/4-'15/9)	FY16 2Q ( '16/4-'16/9)	増減	
	実績	実績	差異	率
<b>売上高</b>	<b>10,698</b>	<b>8,649</b>	<b>-2,049</b>	<b>- 19%</b>
<b>営業利益</b> (利益率)	<b>584</b> (5.5%)	<b>-316</b> (-3.7%)	<b>-900</b>	<b>-</b>
<b>経常利益</b> (利益率)	<b>585</b> (5.5%)	<b>-282</b> (-3.3%)	<b>-867</b>	<b>-</b>
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b> (利益率)	<b>521</b> (4.9%)	<b>-2,196</b> (-25.4%)	<b>-2,717</b>	<b>-</b>
<b>販売台数</b>	<b>521</b>	<b>436</b>	<b>-85</b>	<b>-16%</b>

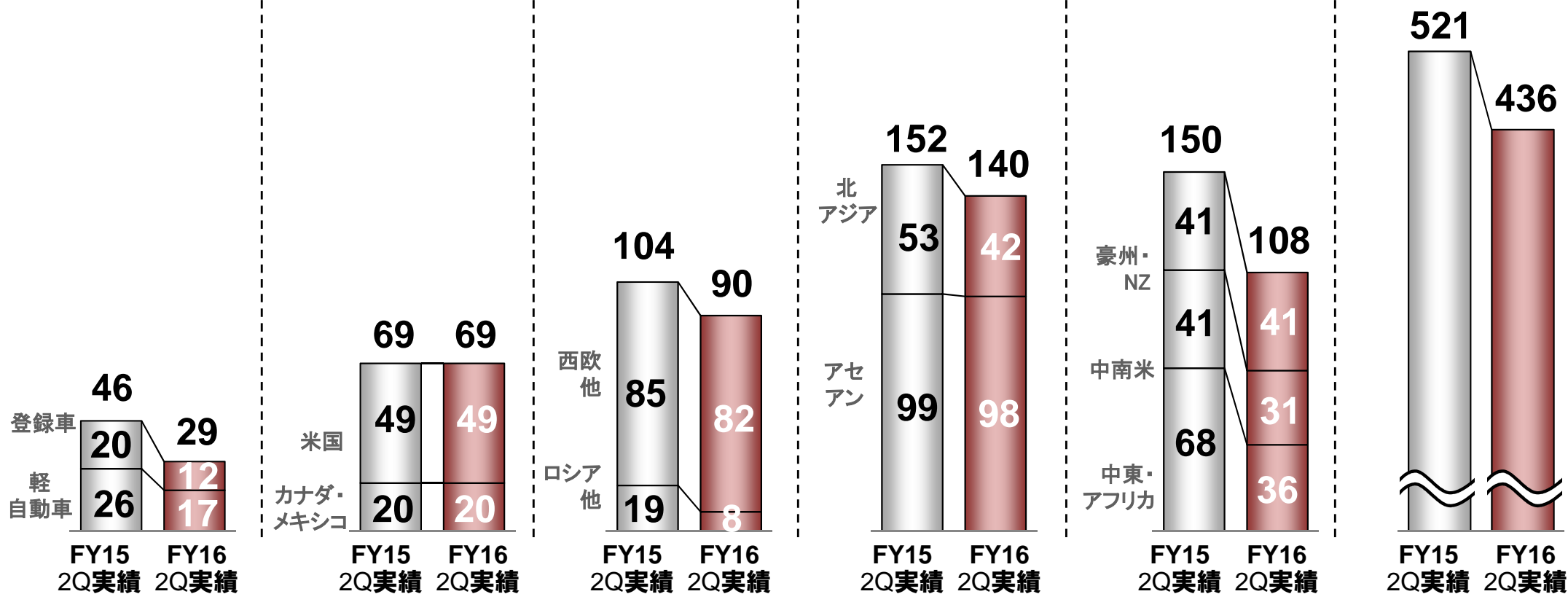
# 2016年度 第2四半期 小売台数実績 【6ヶ月累計、前年同期対比】



日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
----	----	----	-----	-----	----

《前年同期実績対比増減》					
- 17 (- 37%)	±0 (± 0%)	- 14 (- 13%)	- 12 (- 8%)	- 42 (- 28%)	- 85 (- 16%)

(単位: 千台)



※注) 16年度第2四半期小売台数実績は速報値。

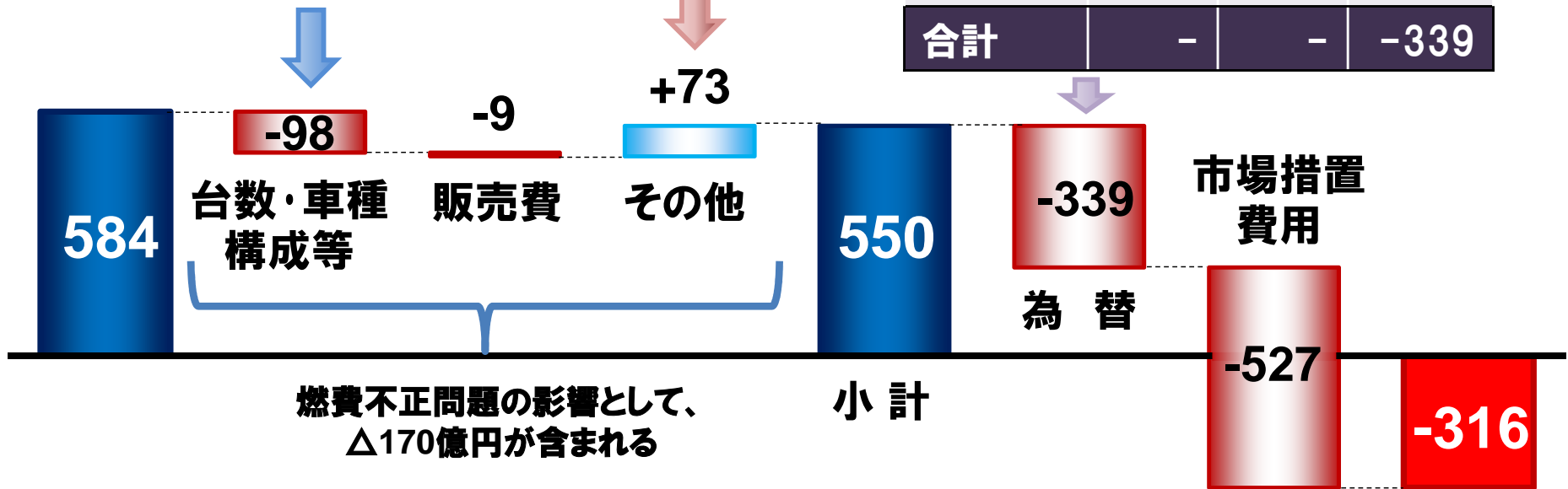
# 2016年度 第2四半期累計 営業利益増減分析【前年同期対比】

(単位：億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	-128
北米	40
欧州	33
アジア	-29
その他 (中東、中南米中心)	-14
<b>合計</b>	<b>-98</b>

その他の内訳	
資材費等コスト低減	+91
研究開発費 他	-18
<b>合計</b>	<b>+73</b>

	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY15 上期	FY16 上期	
米ドル	122	108	-125
ユーロ	135	119	-124
豪ドル	92	80	-111
タイバーツ	3.58	3.03	268
英ポンド	189	147	-58
その他	-	-	-189
<b>合計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-339</b>



FY15 2Q  
(’15/4-’15/9)  
実績

FY16 2Q  
(’16/4-’16/9)  
実績

# 特別損失・法人税等

(単位：億円)

	15年度上期 実績	16年度上期 実績	差異	通期 見通し
経常利益	585	- 282	- 867	- 282
特別損失	78	- 1,671	- 1,749	-1,750
－燃費試験関連損失 (うち、水島製作所の減損) <sup>※1</sup>	0	- 1,662 (- 255)	- 1,662 (- 255)	- 1,662
－固定資産廃却損 他	78	- 9	- 87	- 88
税引前利益	663	- 1,953	- 2,616	- 2,032
－法人税等 (うち、過年度法人税等) <sup>※2</sup>	- 96	- 235 (- 126)	- 139 (- 126)	- 346
非支配株主当期利益	- 46	- 8	38	- 18
親会社株主に帰属する 四半期純利益	521	- 2,196	- 2,717	- 2,396

※1：水島製作所では、将来利益見通しを勘案し減損を計上

※2：海外での移転価格調査の状況から、今回引当を実施

# 2016年度 第2四半期 BSサマリー

(単位: 億円)

	FY15 (16/3末) 実績	FY16 2Q (16/9末) 実績	増減
<b>資産合計</b>	<b>14,337</b>	<b>11,782</b>	<b>-2,555</b>
うち現金及び預金	<b>4,534</b>	<b>3,436</b>	<b>-1,098</b>
<b>負債合計</b>	<b>7,483</b>	<b>7,560</b>	<b>+77</b>
うち有利子負債	<b>271</b>	<b>339</b>	<b>+68</b>
<b>純資産合計</b>	<b>6,854</b>	<b>4,222</b>	<b>-2,632</b>
<b>自己資本</b> <b>(自己資本比率)</b>	<b>6,712</b> <b>(46.8%)</b>	<b>4,110</b> <b>(34.9%)</b>	<b>-2,602</b>
<b>ネットキャッシュ</b>	<b>4,263</b>	<b>3,097</b>	<b>-1,166</b>

## ○ 6月17日に報告済みの再発防止策23項目の進捗状況

- ① 既に対策実施済み : 7項目
- ② 対策立案済み : 9項目
- ③ 対策案検討中 : 7項目

※②、③については遅くとも2017年4月までに適宜、対策を実施。

## ○ 9月30日に報告の追加再発防止策

平成28年9月15日付け「燃費・不正ガス試験に係る不正行為への対応について(追加指示)」を踏まえ、追加再発防止策8項目を取りまとめた。各案件については、2017年4月までに適宜、対策を実施。再発防止策全項目の進捗状況は、今後も四半期毎に国交省へ報告。

## ○ 事業構造改革室の取り組み

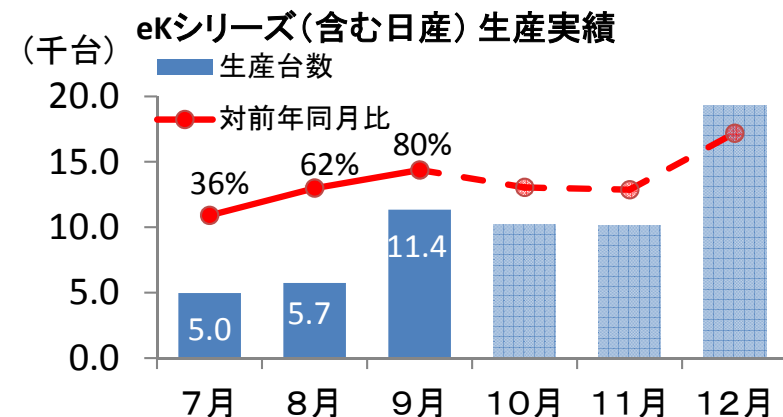
再発防止策全31項目の着実な実行を主導し、今後の会社発展に向け、組織、仕組み、文化、技術面での中長期的な全社構造改革に取り組む。



## ○ 軽自動車の生産状況

7月の生産再開以降、生産台数は徐々に拡大し、9月以降は1直稼働10千台レベルで推移。

生産台数の増加計画に伴い、11月28日より軽自動車のライン2直化を再開。



## ○ 10月の販売見込み

今年2月以来8ヶ月ぶりに前年オーバーの見込み(前年比104%・10月24日現在)

## ○ 10月の受注状況(10月24日現在)

登録車:(前年比)142%

10月の販売再開以降、販売再開をお待ち頂いたお客様からの受注で、前年オーバーで推移。

軽自動車:(前年比)105%

販売再開をお待ち頂いたお客様、関係会社や自治体、社員販売などにより前年オーバーで推移。

○ 電動車の意義と価値を感じて頂ける次世代店舗「電動DriveStation」をオープン



## 通期業績見通し



インドネシア国際オートショー2016出品車『MITSUBISHI XM Concept』

# 2016年度通期小売台数見通し【前年度対比】

## 前回公表計画(6月22日)から下方修正

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
----	----	----	-----	-----	----

### 《前年度実績対比増減》

- 38  
(- 37%)

+ 8  
(+ 6%)

- 25  
(- 12%)

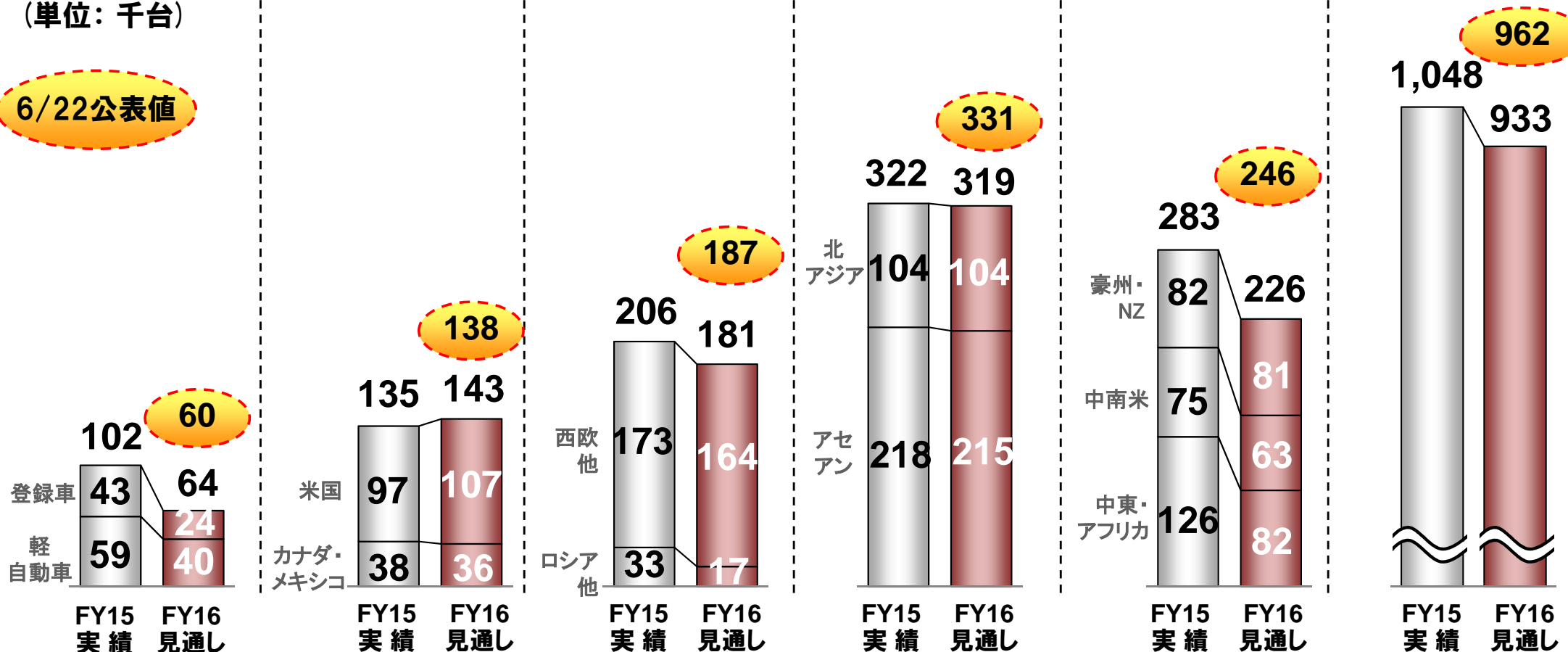
- 3  
(- 1%)

- 57  
(- 20%)

- 115  
(- 11%)

(単位: 千台)

6/22公表値



# 2016年度通期業績サマリー【前年度対比】

(単位：億円)

	FY15 ( '15/4-'16/3)	FY16 ( '16/4-'17/3)	増減		期初計画 (6/22公表)
	実績	見通し	差異	率	
<b>売上高</b>	<b>22,678</b>	<b>18,400</b>	- 4,278	- 19%	<b>19,100</b>
<b>営業利益</b> (利益率)	<b>1,384</b> (6.1%)	<b>-276</b> (- 1.5%)	- 1,660	-	<b>250</b> (1.3%)
<b>経常利益</b> (利益率)	<b>1,410</b> (6.2%)	<b>-282</b> (- 1.5%)	- 1,692	-	<b>320</b> (1.7%)
<b>親会社株主に 帰属する当期純利益</b> (利益率)	<b>726</b> (3.2%)	<b>-2,396</b> (- 13.0%)	- 3,122	-	<b>- 1,450</b> (- 7.6%)

# 2016年度 営業利益見通し増減分析【前年度対比】

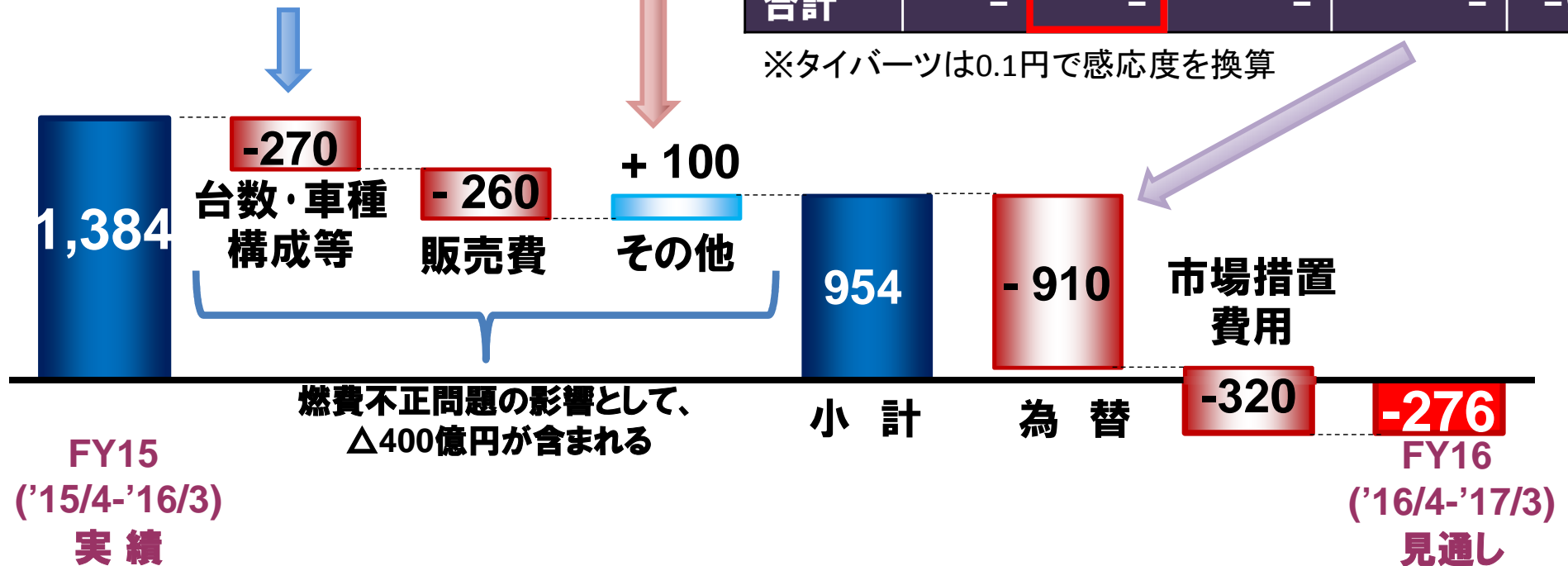
(単位：億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	-200
北米	80
欧州	40
アジア	-90
その他 (中東、中南米中心)	-100
<b>合計</b>	<b>-270</b>

その他の内訳	
資材費等 コスト低減	+120
研究開発費 他	-20
<b>合計</b>	<b>+100</b>

	売上レート(円)			年間 感応度 (億円)	影響額 (億円)
	FY15	FY16	FY16下期		
米ドル	121	103	100	21	-386
ユーロ	133	115	111	15	-271
豪ドル	88	79	77	17	-153
タイバーツ	3.44	2.99	2.90	100	488
英ポンド	182	132	125	4	-220
その他	-	-	-	-	-368
<b>合計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-910</b>

※タイバーツは0.1円で感応度を換算



# 2016年度下期 業績見通し

(単位：億円、千台)

	FY16 上期 実績	FY16 下期 見通し	FY16 通期 見通し
<b>売上高</b>	<b>8,649</b>	<b>9,751</b>	<b>18,400</b>
<b>営業利益</b> (利益率)	<b>-316</b> (- 3.7%)	<b>40</b> (0.4%)	<b>-276</b> (- 1.5%)
<b>経常利益</b> (利益率)	<b>-282</b> (- 3.3%)	<b>0</b> (0.0%)	<b>-282</b> (- 1.5%)
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b> (利益率)	<b>-2,196</b> (- 25.4%)	<b>-200</b> (- 2.1%)	<b>-2,396</b> (- 13.0%)
<b>販売台数</b>	<b>436</b>	<b>497</b>	<b>933</b>

- 10月20日、日産自動車による当社への2,370億円の出資が完了。日産自動車が当社発行済み株式の34%を保有する単独筆頭株主となる。
- 既存の大株主である三菱重工業、三菱商事、三菱東京UFJ銀行は日産の出資を歓迎しており、今後、上記3社と日産で51%以上の株式保有を維持していく。
- 日産からの新たな取締役候補者
  - 取締役会長 : カルロス ゴーン氏
  - 取締役 : 川口 均氏
  - 取締役 : 軽部 博氏
- 上記取締役は12月14日開催の臨時株主総会で決定する予定。
- 更に、最高執行責任者として、トレバー マン氏を迎えることを発表。

NISSAN MOTOR CORPORATION





## 以下の領域をはじめ、多くの有益なシナジー効果を創出

- 共同購買コストの削減
- 車両プラットフォームの共有
- 技術の共有(PHEV、パワートレイン、自動運転)
- 発展途上市場および新興市場におけるアライアンスチームのプレゼンス拡大
- 三菱自動車のお客さま向けにルノー日産アライアンスの販売金融機能を活用
- 生産設備の共用

NISSAN MOTOR CORPORATION



## ○購買関連を中心に期待できるシナジー効果を早期に取り込んで V字回復を図る

	2017年度	2018年度	2019年度
シナジー効果	約250億円 (4割は購買関連)	約400億円	-
営業利益率の向上	約1%	約2%	2%以上
1株当たり収益	12円増加	20円増加	-

NISSAN MOTOR CORPORATION



# Appendix

---

# 2016年度 小売台数見通し【前回公表対比】

## 前回公表計画(6月22日)から下方修正

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
----	----	----	-----	-----	----

### 《前回公表対比増減》

+ 4  
(+ 7%)

+ 5  
(+ 4%)

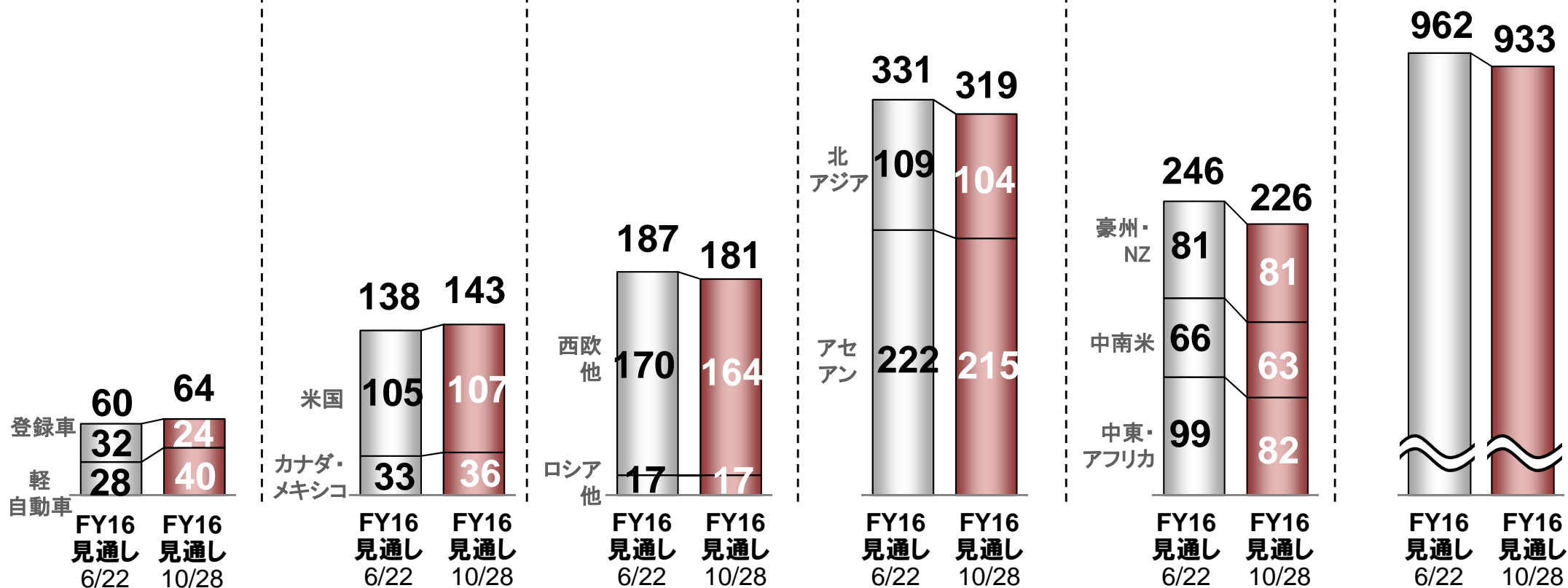
- 6  
(- 3%)

- 12  
(- 4%)

- 20  
(- 8%)

- 29  
(- 3%)

(単位: 千台)

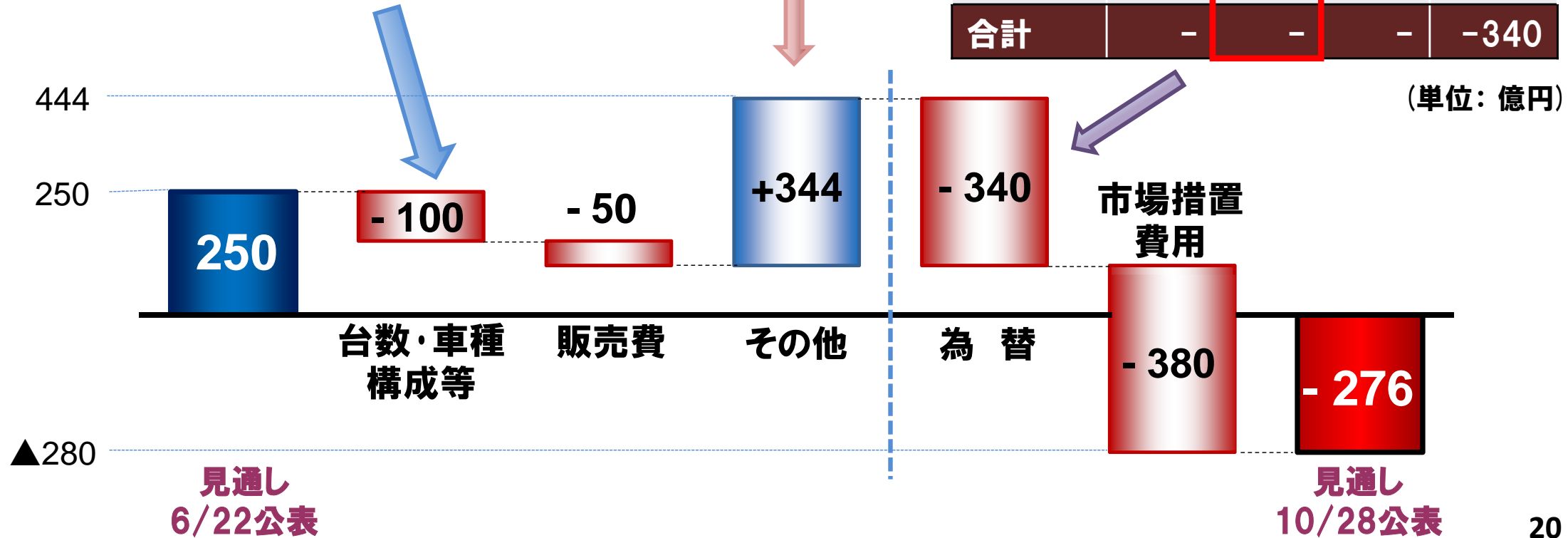


# 2016年度 営業利益見通し増減分析【前回公表対比】

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	20
北米	20
欧州	-40
アジア	0
その他 (中東、中南米中心)	-100
<b>合計</b>	<b>-100</b>

その他の内訳	
資材費等コスト低減	+40
特別損失への振替	+90
一般経費等	+130
その他	+84
<b>合計</b>	<b>+344</b>

	売上レート(円)			影響額 (億円)
	前回	今回 (通期)	今回 (下期)	
米ドル	106	103	100	-80
ユーロ	123	115	111	-120
豪ドル	82	79	77	-50
タイバーツ	3.11	2.99	2.90	+150
英ポンド	154	132	125	-90
その他	-	-	-	-150
<b>合計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-340</b>



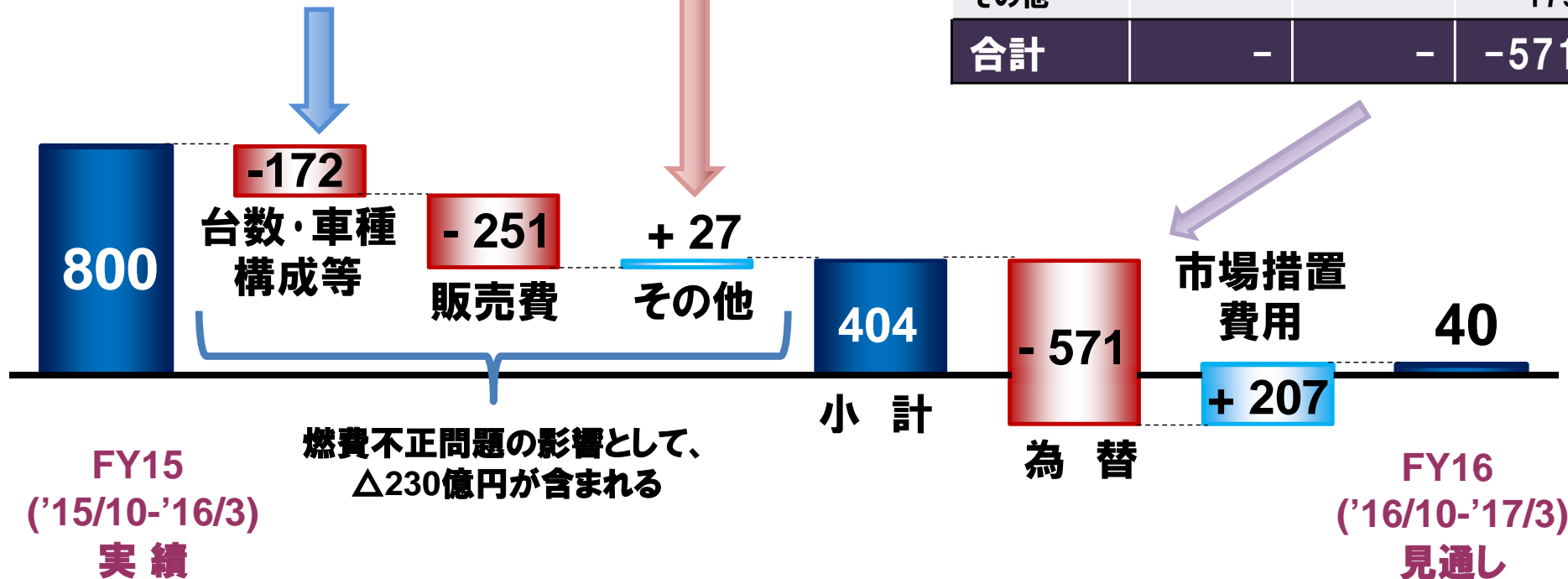
# 2016年度 営業利益下期見通し増減分析【前年度下期対比】

(単位: 億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	-72
北米	40
欧州	+7
アジア	-61
その他 (中東、中南米中心)	-86
<b>合計</b>	<b>-172</b>

その他の内訳	
資材費等コスト低減	+29
研究開発費 他	-2
<b>合計</b>	<b>+27</b>

	下期売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY15 下期	FY16 下期	
米ドル	120	100	-261
ユーロ	131	111	-147
豪ドル	85	77	-42
タイバーツ	3.32	2.90	220
英ポンド	177	125	-162
その他	-	-	-179
<b>合計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-571</b>



# 燃費不正問題関連損失

(単位: 億円)

項目			上期 実績	今回(10/28) 通期見通し	前回(6/22) 通期見通し
	1Q実績	2Q実績			
営業利益への影響	- 64	- 107	- 171	- 400	- 550
特別損失	<b>- 1,259</b>	<b>- 403</b>	<b>- 1,662</b>	<b>- 1,662</b>	<b>- 1,500</b>
お客様へのお支払い	(- 521)	(- 47)	(- 567)	(- 567)	(- 500)
上記以外のお客様窓口関連	(- 127)	(- 36)	(- 164)	(- 164)	(- 150)
販売関連	(- 386)	(- 32)	(- 418)	(- 418)	(- 400)
生産・購買関連	(- 170)	(- 235)	(- 405)	(- 405)	(- 350)
その他	(- 55)	(- 53)	(- 108)	(- 108)	(- 100)
合計	<b>- 1,323</b>	<b>- 510</b>	<b>- 1,833</b>	<b>- 2,062</b>	<b>- 2,050</b>

(単位：億円)

	FY15 2Q 実績 ( '15/4-'15/9)	FY16 2Q 実績 ( '16/4-'16/9)	増減	(ご参考) 為替影響と市場措置費用を除く
売上高	10,698	8,649	-2,049	—
- 日本	1,839	1,073	- 766	—
- 北米	1,794	1,455	-339	—
- 欧州	2,476	2,158	- 318	—
- アジア	1,920	1,917	- 3	—
- その他	2,669	2,046	- 623	—
営業利益	584	- 316	- 900	550
- 日本	- 36	- 226	- 190	- 177
- 北米	59	- 111	-170	138
- 欧州	95	- 237	- 332	131
- アジア	291	206	-85	257
- その他	175	52	- 123	201



(単位：億円)

	FY15 実績 ( '15/4-'16/3)	FY16 10/28見通し ( '16/4-'17/3)	増減	(ご参考) 為替影響と市場措 置費用を除く
売上高	22,678	18,400	- 4,278	—
- 日本	4,129	2,900	- 1,229	—
- 北米	3,248	2,800	- 448	—
- 欧州	5,146	4,100	- 1,046	—
- アジア	4,826	4,200	- 626	—
- その他	5,329	4,400	- 929	—
営業利益	1,384	- 276	- 1,660	954
- 日本	-24	- 390	- 366	- 422
- 北米	62	- 190	- 252	192
- 欧州	221	- 380	- 601	267
- アジア	749	460	- 289	558
- その他	376	224	- 152	359

(単位：億円)

	FY16 6/22見通し ( '16/4-'17/3)	FY16 10/28見通し ( '16/4-'17/3)	増減	(ご参考) 為替影響と市場措 置費用を除く
売上高	19,100	18,400	- 700	—
- 日本	2,500	2,900	+ 400	—
- 北米	2,900	2,800	- 100	—
- 欧州	4,600	4,100	- 500	—
- アジア	4,300	4,200	- 100	—
- その他	4,800	4,400	- 400	—
営業利益	250	- 276	- 526	954
- 日本	- 520	- 390	130	- 422
- 北米	- 70	- 190	- 120	192
- 欧州	30	- 380	- 410	267
- アジア	480	460	- 20	558
- その他	330	224	- 106	359

# 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	FY15 2Q ( '15/4-'15/9) 実績	FY16 2Q ( '16/4-'16/9) 実績	FY16 ( '16/4-'17/3) 見通し
設備投資 (前年同期比)	354 (+55%)	215 (-39%)	710 (+3%)
減価償却費 (前年同期比)	258 (+2%)	238 (-8%)	500 (-7%)
研究開発費 (前年同期比)	385 (+12%)	406 (+5%)	930 (+18%)

## 1株当たり配当金

	<b>FY15</b> ( '15/4~'16/3)	<b>FY16</b> ( '16/4~'17/3) <b>(予想)</b>
<b>第2四半期末</b>	8.0円	5.0円
<b>期末</b>	8.0円	5.0円
<b>合計</b>	16.0円	10.0円

**本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。**

**なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。**

Drive@earth



**MITSUBISHI MOTORS**